

都市の危機管理における

# 路面下空洞対策

アンケート集計結果

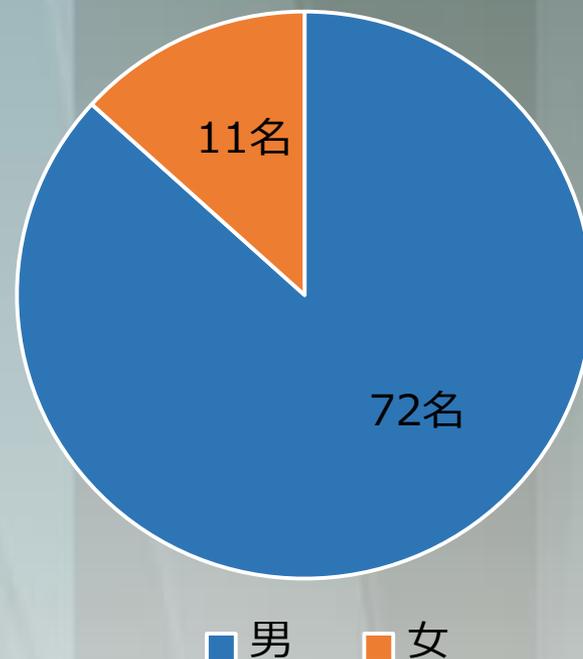
# シンポジウム参加者数 206名様

企業	91名
国・地方自治体	80名
大学関係者	6名
関係者	29名
計	206名

## アンケート集計者数 83名様分 (男性 72名、女性 11名)

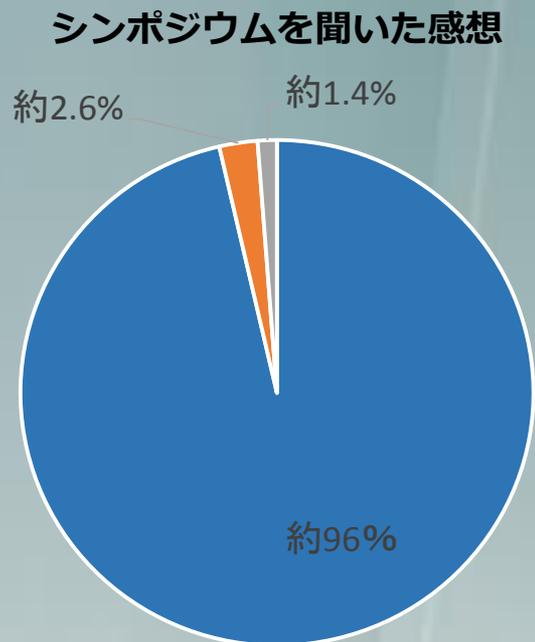
男性		女性	
20代以下	9人	20代以下	2人
30代	16人	30代	3人
40代	17人	40代	3人
50代	19人	50代	3人
60代	8人		

男女比



# シンポジウムを聞いた感想

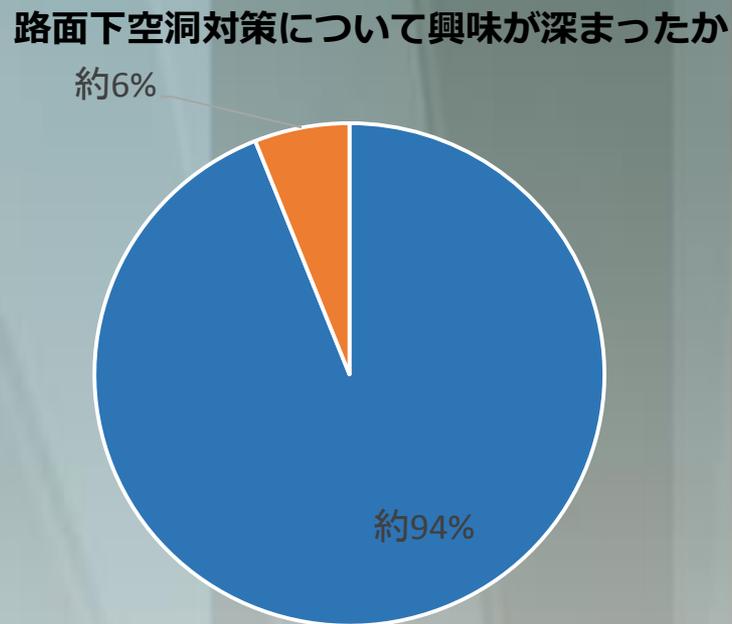
とてもためになった、ためになった 約96%  
どちらでもない 約2.6%  
不明 約1.4%



- とてもためになった、ためになった
- どちらでもない
- 不明

# 路面下空洞対策について興味が高まったか

とても興味が高まった、興味が高まった 約94%  
どちらでもない 約6%



- とても興味が高まった、興味が高まった
- どちらでもない

# 感想

- ・ 日常的にリスク対策の必要性を改めて確認できてよかった（男性/20代以下）
- ・ 初心者でも分かりやすい内容になっていてよかった（男性/20代以下）
- ・ 普段の業務で疑問に感じていたことを知ることが出来た（男性/20代以下）
- ・ 講演において、行政がどう有事の対応を考えているのか理解できた（男性/20代以下）
- ・ 空洞調査の実施計画を検討中であり、たくさんのヒントが得られた（男性/30代）
- ・ 他自治体の空洞調査事業計画が参考になった（男性/30代）
- ・ 福岡市の陥没事故においてのスピーディーな判断はとても勉強になった（男性/30代）
- ・ 路面下空洞を身近に感じることができた（男性/30代）
- ・ 行政としての役割や、現在の取り組み状況について大変参考になった（男性/40代）
- ・ 高島市長の講演がとても参考になった（男性/50代）
- ・ 空洞調査の必要性を改めて感じた（男性/50代）
- ・ 路面下の問題はもちろん、平時の維持管理全体が災害時の約束の中で大きな意味を持つと気づいた（女性/20代以下）
- ・ 自分が住んでいる自治体の路面下空洞対策がどのようなになっているのか調べていくことが危機管理を進めていくことであると思った（女性/50代）